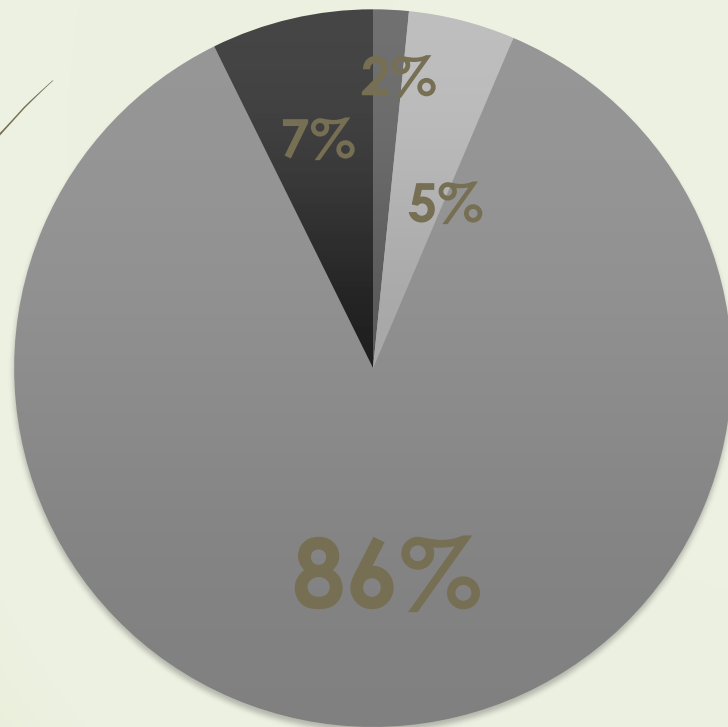




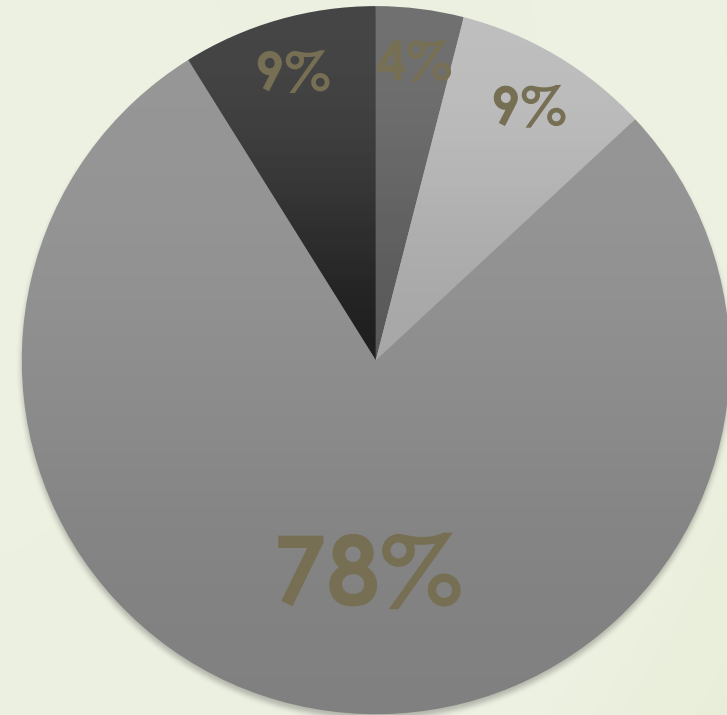
ACPの取り組みについて

人生会議を知っていましたか？

一般高齢者調査の結果



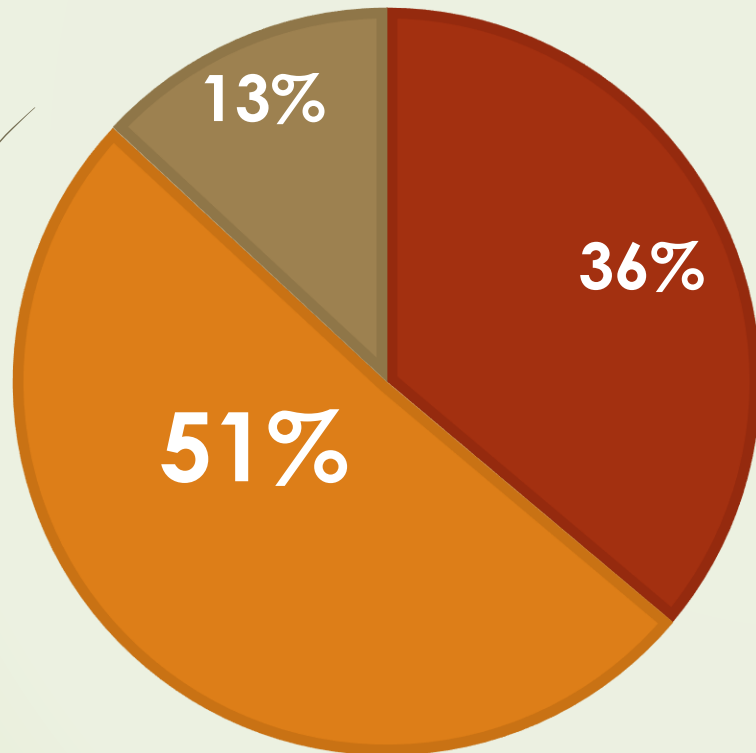
要支援・要介護認定調査の結果



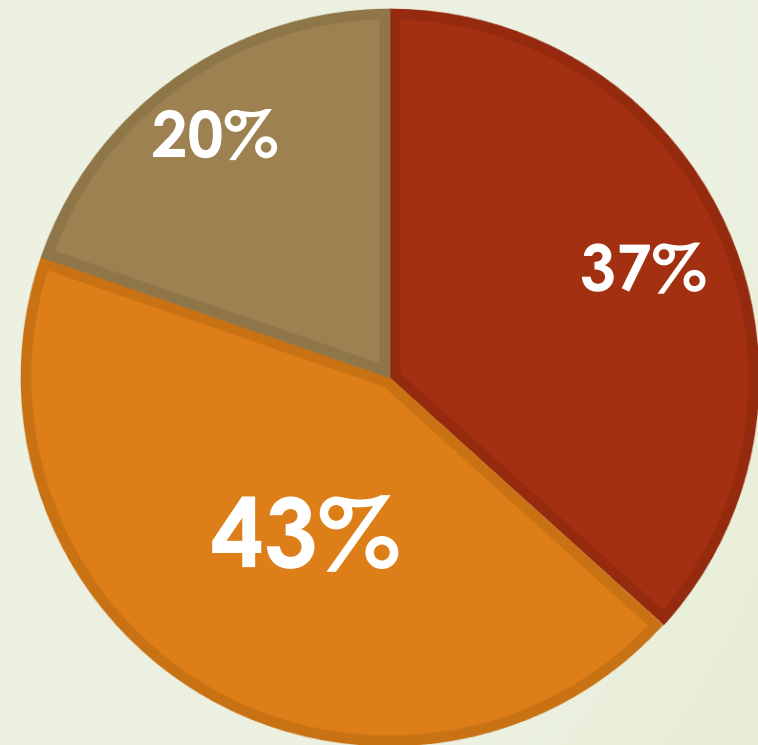
■ 知っていた ■ 名前は知っていた ■ 知らなかった ■ 無回答

命に係わる病気やケガといったもしもの時のために、自身が望む医療やケアについて考えたことがありますか？

一般高齢者調査の結果



要支援・要介護認定調査の結果



■ はい ■ いいえ ■ 無回答

取り組み計画 2 急変時の連携：ACPへの取り組み

流山市高齢者支援計画第9期策定のための介護サービス事業所調査
(令和5年5月実施) 居宅介護支援事業所への調査表

ACPに関する項目のアンケート結果

- ★利用者に対しACPを取り入れている 70.8%
取り入れていない 29.2%
- ★取り入れる際に支障があるかの項目
 - ACPの考え方が一般に浸透していない 75.0%
 - ACPの話を切り出した時の利用者・家族の反応に不安がある 70.8%

流山市高齢者実態調査結果からみえたこと

- 人生会議について知らないが8割近く
- 自分自身の医療やケアについて考えていないが5割近く



要因

- ◆ そもそもACPを知らない、浸透していない
- ◆ 病気などの身体的苦痛が生じておらず、健康上の困りごとがない
- ◆ 比較的元気であり、今後のイメージがわからない、漠然としている
- ◆ 今後の備えについて自分事として考えるに至らない

流山市高齢者支援計画第9期策定のための介護サービス事業所調査 (令和5年5月実施) 居宅介護支援事業所への調査表結果からみえたこと

- ACPを7割近く取り入れている、3割弱は取り入っていない
- 取り入れる際に支障をきたす理由
 - ACPの考えが一般的に浸透していない (75%)
 - 話を切り出した際の家族、本人の反応に不安がある (70.8%)

要因

- ◆ ACPが浸透していない
- ◆ 信頼関係の構築が大前提であり、話題に出すタイミングや、個別の対応が難しい
- ◆ 最期をどうするか考えることに抵抗がある高齢者もあり、話題にしにくい
- ◆ 人生会議という堅いイメージや、ハードルが高く感じ、身構えてしまう

取り組み計画2 急変時の連携：ACPへの取り組み

流山市高齢者実態調査

- 人生会議について知らないが8割近く
- 自分自身の医療やケアについて考えていない方が5割近く

要因

- ・そもそもACPを知らない、浸透していない
- ・病気などの身体的苦痛が生じておらず、健康上の困りごとがない
- ・比較的元気であり、今後のことへのイメージがわからない
- ・今後の備えなど、自分事として捉えるに至らない

介護サービス事業者調査 居宅介護支援事業所

- ACPを7割近くとりいれている
- 取り入れる際に支障をきたす理由
浸透していない（75%）
話を切り出した際の家族、本人の反応に不安がある（70.8%）

要因

- ACPが浸透していない
- 信頼関係の構築が大前提であり、話題に出すタイミングや、個別の対応が難しい
- 最期をどうするか考えることに抵抗がある高齢者もおり、話題にしにくい
- 人生会議という堅いイメージや、ハードルが高く感じ、身構えてしまう

取り組み計画2 急変時の連携：ACPへの取り組み

80%近くの高齢者がACPを知らない現状を変えるには？

- 趣旨の決定・・・**普及啓発**に焦点を絞る
- 対象の決定・・・要支援・要介護認定を受けている方に絞る？
一般の高齢者も含む？
- まずは知ってもらう、何だろうと興味を示してもらう
- 知ってもらうために、どのようにアプローチするか？



取り組み計画2 急変時の連携：ACPへの取り組み

80%近くの高齢者がACPを知らない現状を変えるには？

- まずは知ってもらおう、何だろろうと興味を示してもらおうことが最初の一步

取り組み計画2 急変時の連携：ACPへの取り組み

80%近くの高齢者がACPを知らない現状を変えるには？

- 知ってもらうために、どのようにアプローチするか？